

「あいち福祉用具ロボットフェスタ」 に参加して

ヘルスケア・プロジェクト 高橋 弘章

2014年2月7日(金)-8日(土)にあいち健康プラザ ヘルスサイエンスシアター(愛知県大府市)にて、「あいち福祉用具ロボットフェスタ」が開催されました。

本フェスタは、講演会と実演展示(企業・団体;19件)、福祉用具・介護ロボット実証評価促進事業 実証評価実施案件展示(企業・団体;6件)、パネル出展(団体;15件)という構成でした。

実演展示では、中部地域の自動車部品メーカーである東海ゴム工業株式会社様、株式会社東郷製作所様など出展され、自社技術や商品を紹介し、活発な意見交換が行われていました。講演会においては、大和ハウス工業株式会社様よりロボット福祉機器について、株式会社日進医療器様からは福祉用具の中国市場の展開についての発表がありました。

ダイワハウス工業株式会社様のご講演では、ロボット介護機器導入の社会的意義として、介護給付の抑制や介護職員数の不足を補う効果が非常に高い点を挙げられていました。ロボット介護機器への具体的な取り組みとしては、健康寿命(自立生活)を延ばすとの課題に対して、身体機能の低下を支える「ロボットスーツ HAL」を、また、認知症ケアの課題に対して、メンタル面のサポートとして「メンタルコミットロボット パロ」等をご紹介されましたが、いずれもアイデア溢れる内容でした。



株式会社日進医療器様は、中国における車椅子事情をふまえながら、自社の業界No.1技術力を活かした市場展開の取り組みについてお話がありました。市場展開にあたって改めて自社の役割を熟考し、日本品質の車椅子の普及や中国国内で使用されている車椅子のカスタマイズ(使用者の体と環境に合わせた「考え方」「モノづくり)」を核とした戦略を展開しておられ、大変興味深いお話でした。

ロボットという新たな切り口でのモノづくり貢献、既存技術力や製品を世界へ展開する貢献。より快適な生活を提供していこうという両者の取り組み紹介は、聴講者にとって今後の参考となったことと思います。新たな事業づくりや新たなマーケット調査などは弊社JMACも多数の支援実績がありますので、ご関心のある方はご一報いただければと存じます。

出典;ダイワハウス工業 ホームページ

<http://www.daiwahouse.co.jp/robot/hal/> ・ <http://www.daiwahouse.co.jp/robot/paro/>

【お問合せ】 株式会社日本能率協会コンサルティング

担当;ヘルスケア・プロジェクト 大石・高橋

URL:<http://www.jmac.co.jp>

TEL.03-3434-0982 mail;healthcare_jmac@jmac.co.jp

